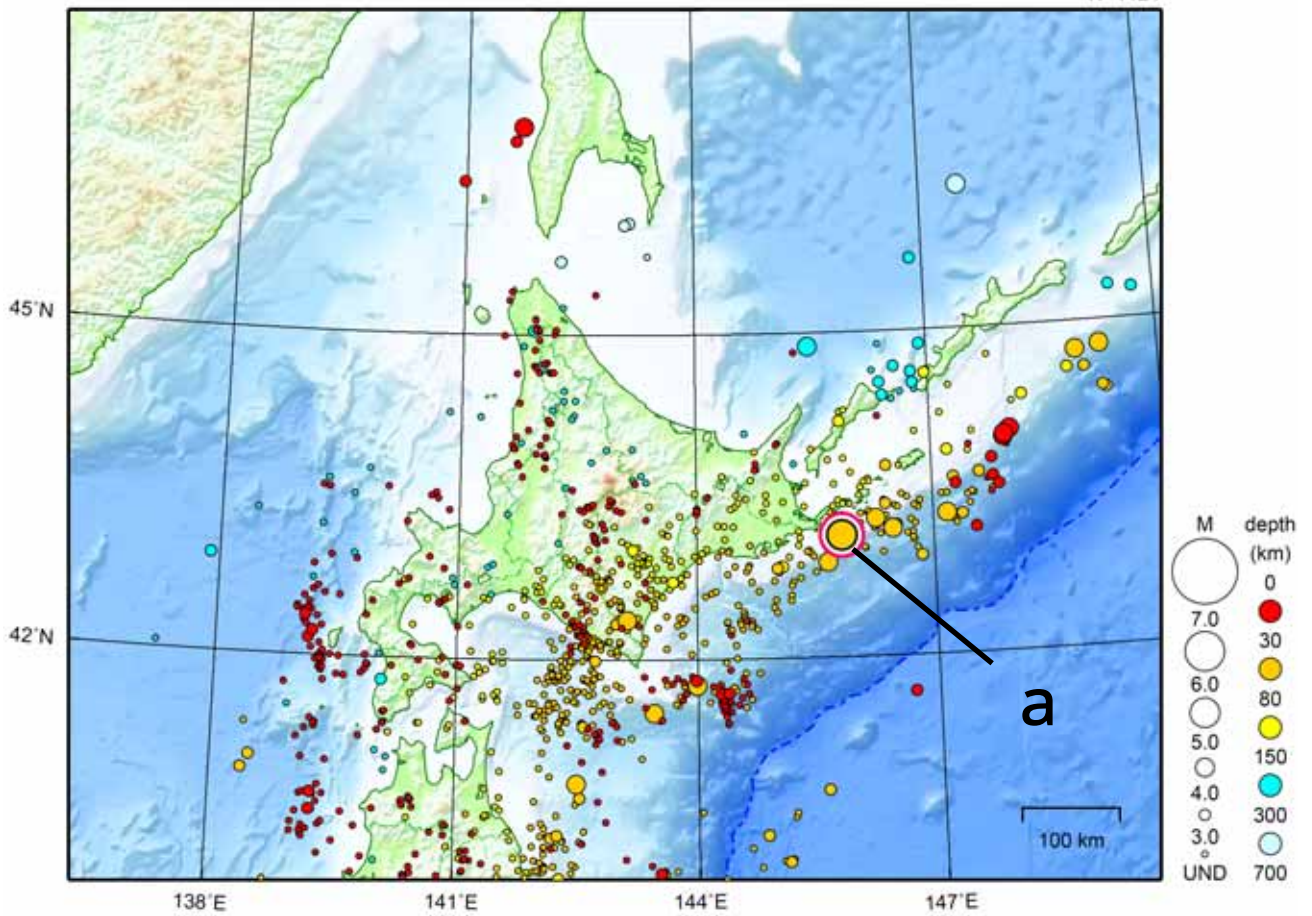


北海道地方

2008/11/01 00:00 ~ 2008/11/30 24:00

N=1124



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

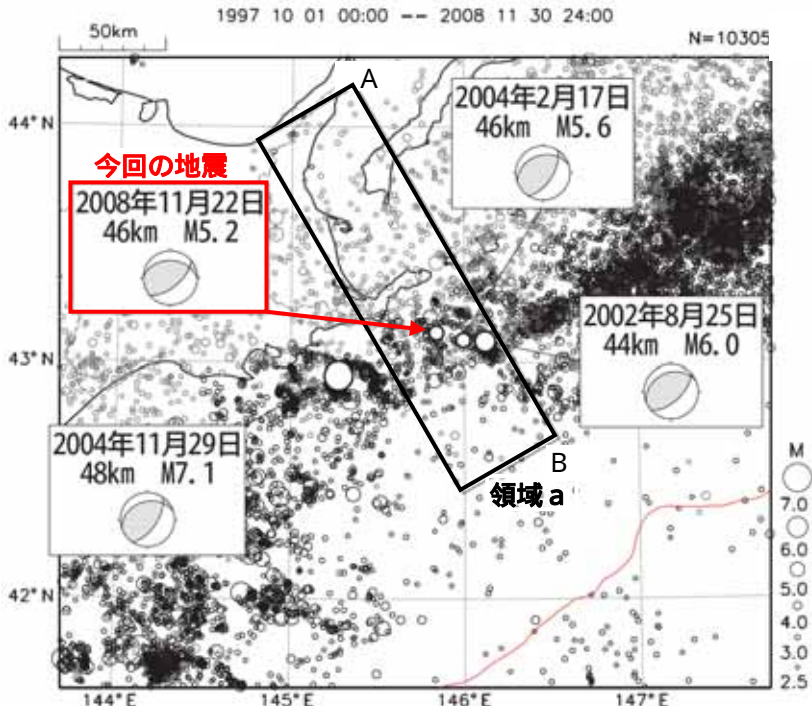
a) 11 月 22 日に根室半島南東沖で M5.2 (最大震度 4) の地震があった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

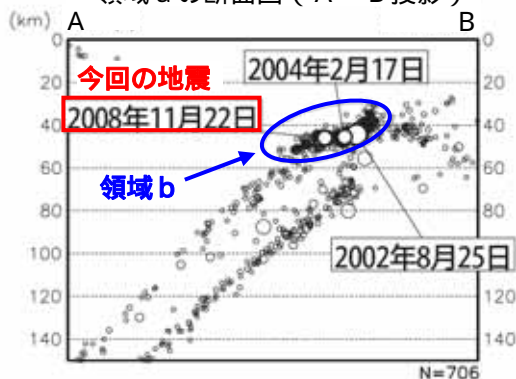
気象庁・文部科学省

11月22日 根室半島南東沖の地震

震央分布図(1997年10月以降, M 2.5、深さ0~150km)
深さ60km以浅を濃く表示。発震機構はCMT解。



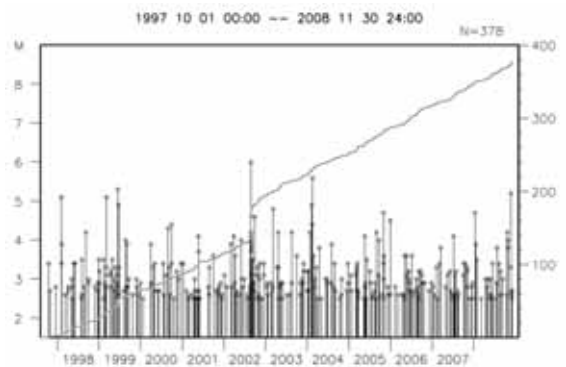
領域aの断面図(A-B投影)



2008年11月22日00時44分、根室半島南東沖の深さ46kmでM5.2(最大震度4)の地震が発生した。発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、M5.0を超える地震が時々発生しており、最大は2002年8月25日に発生したM6.0(最大震度4)の地震である。

領域bの地震活動経過図、回数積算図

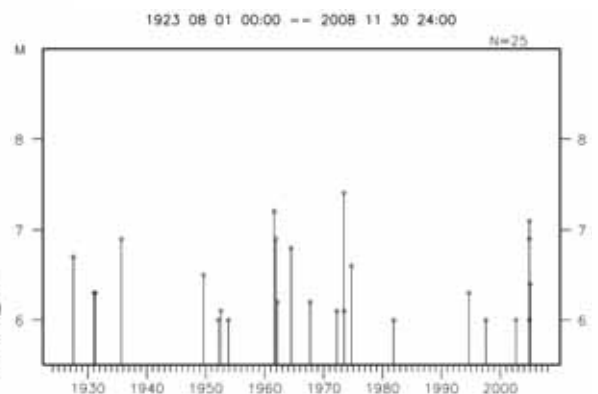


震央分布図(1923年8月以降, M 6.0、深さ0~100km)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、「1973年6月17日根室半島沖地震」(M7.4、最大震度5)や2004年11月29日の地震(M7.1、最大震度5強)など、M6.0以上の地震が度々発生している。

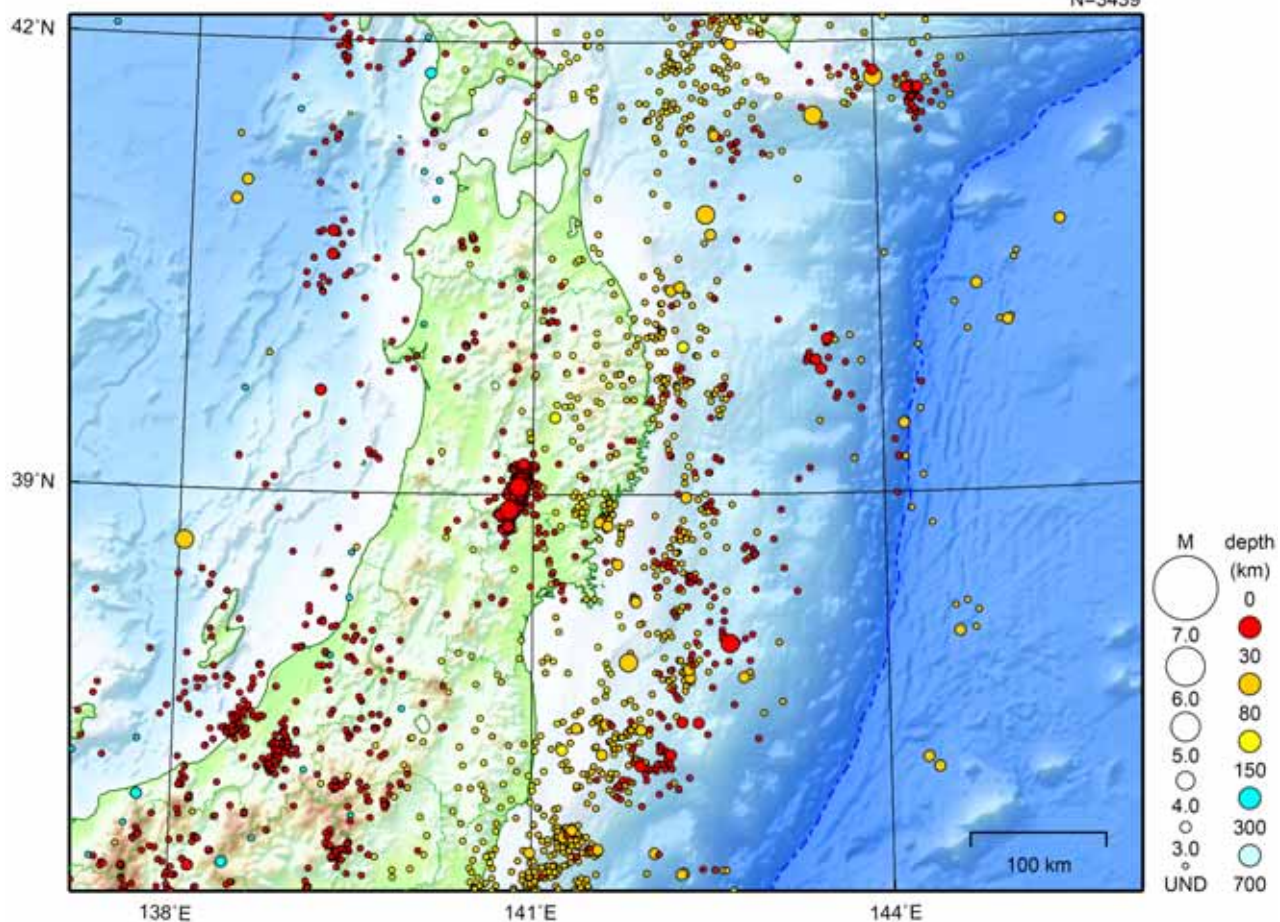
領域cの地震活動経過図



東北地方

2008/11/01 00:00 ~ 2008/11/30 24:00

N=3439



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

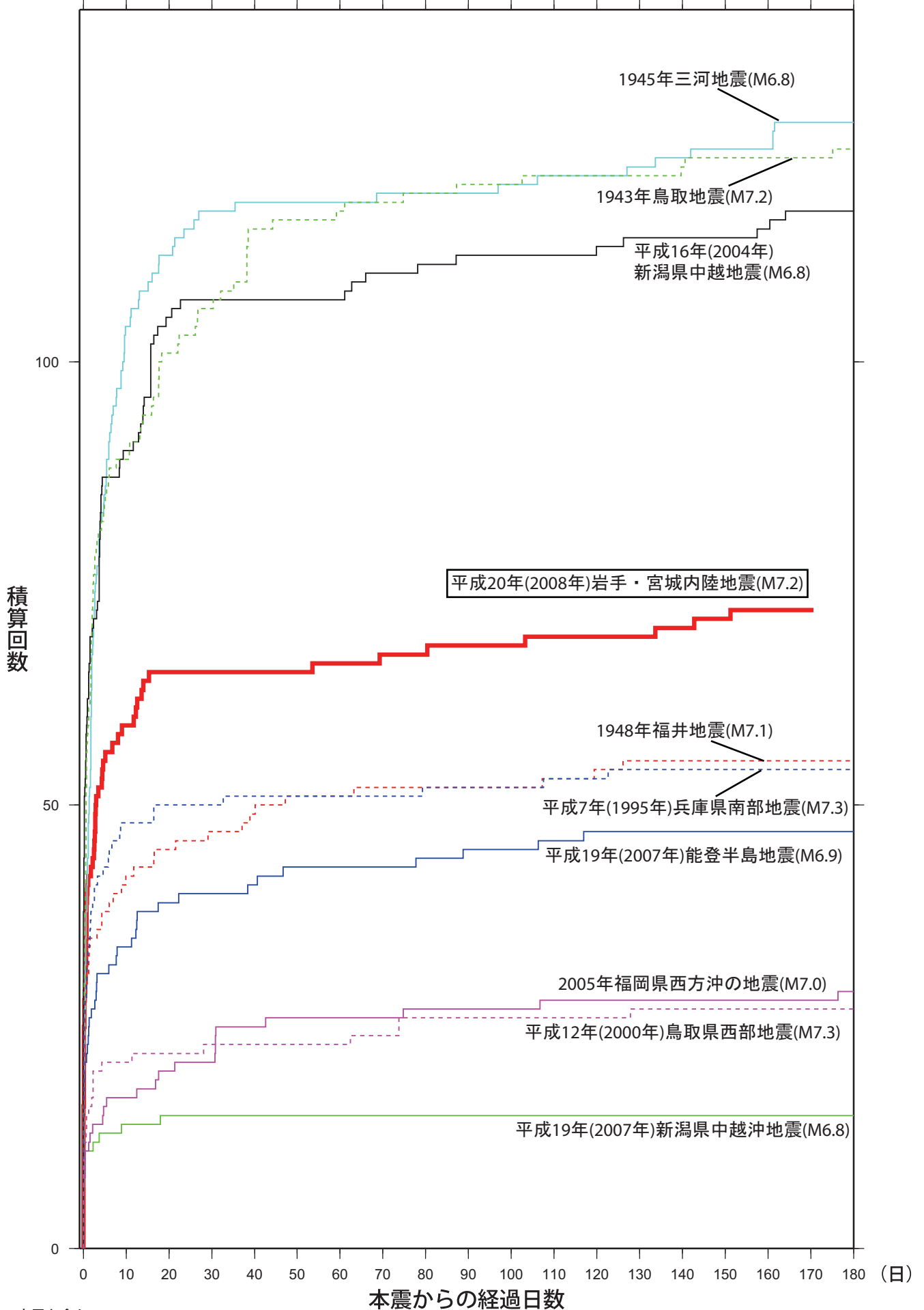
特に目立った活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

内陸及び沿岸で発生した主な地震の 余震回数比較 (マグニチュード4.0以上)

2008年12月01日24時00分現在



※本震を含む。

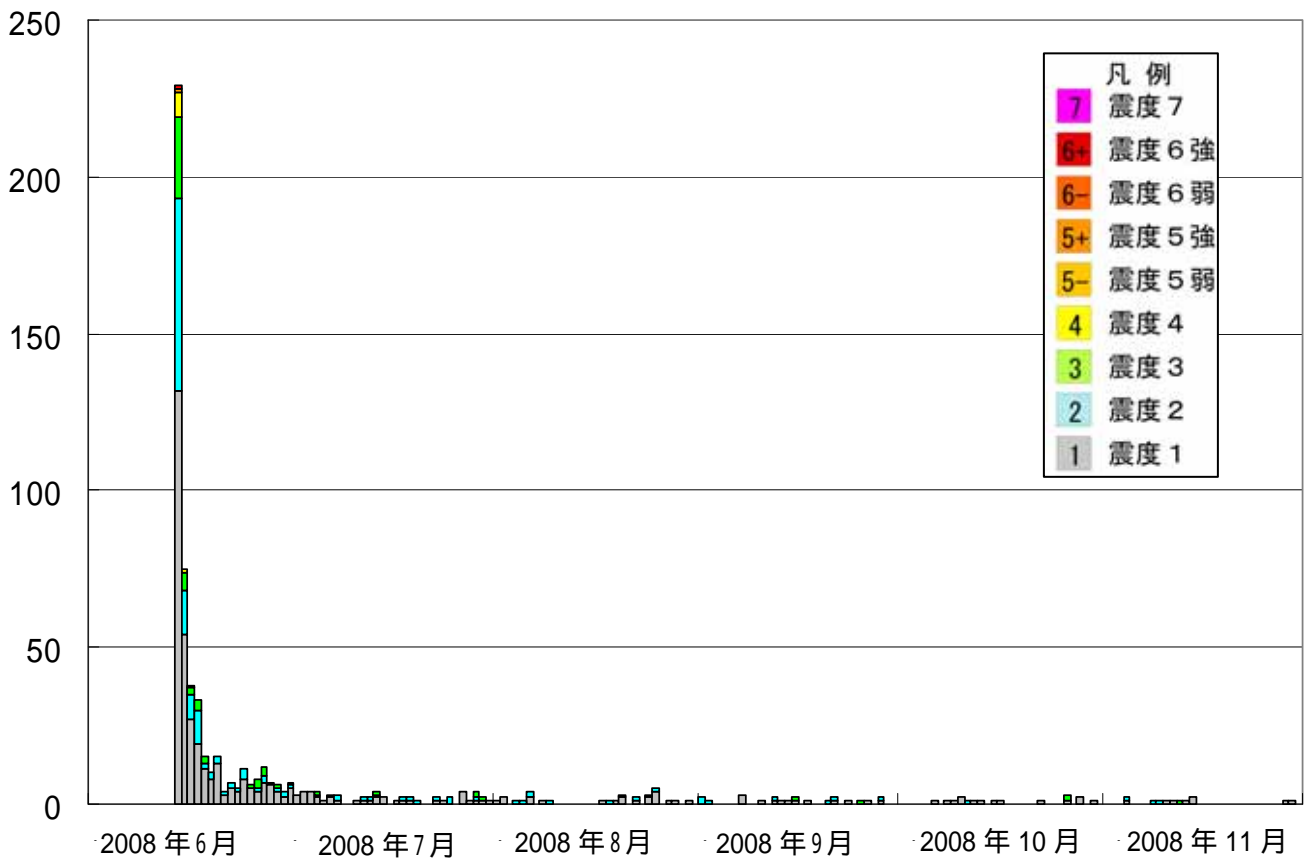
※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがあります。

気象庁作成

平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震の震度別地震回数

平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震及びその余震の震度別地震回数表
(2008 年 6 月 14 日～11 月 30 日、月別、本震を含む)

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
2008年6月	312	113	48	10	1	0	0	1	0	485
2008年7月	42	15	6	0	0	0	0	0	0	63
2008年8月	20	10	0	0	0	0	0	0	0	30
2008年9月	13	7	2	0	0	0	0	0	0	22
2008年10月	14	1	2	0	0	0	0	0	0	17
2008年11月	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12
合計	409	149	59	10	1	0	0	1	0	629

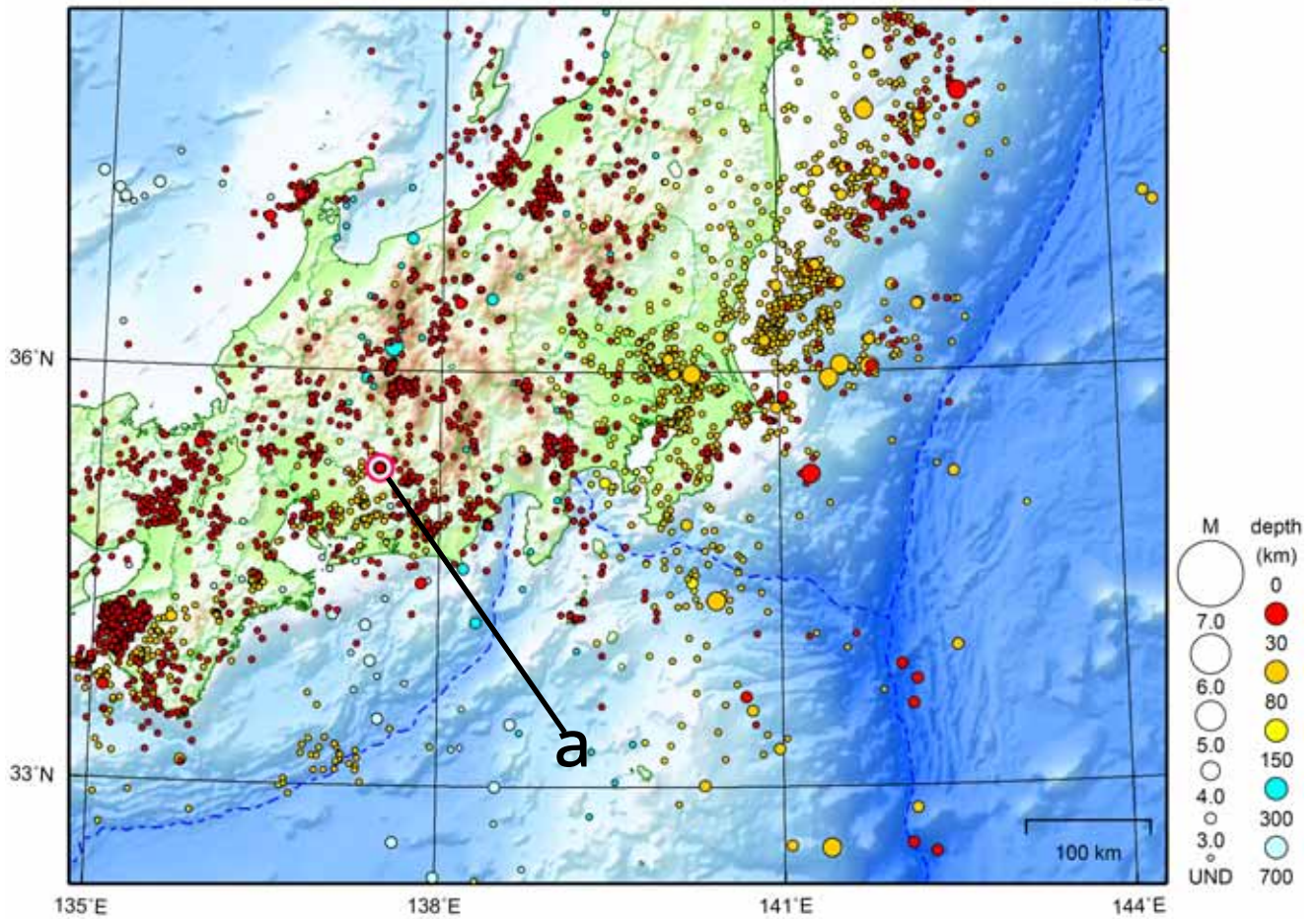


平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震とその余震の震度別グラフ
(2008 年 6 月 14 日～11 月 30 日、日別、本震を含む)

関東・中部地方

2008/11/01 00:00 ~ 2008/11/30 24:00

N=4223



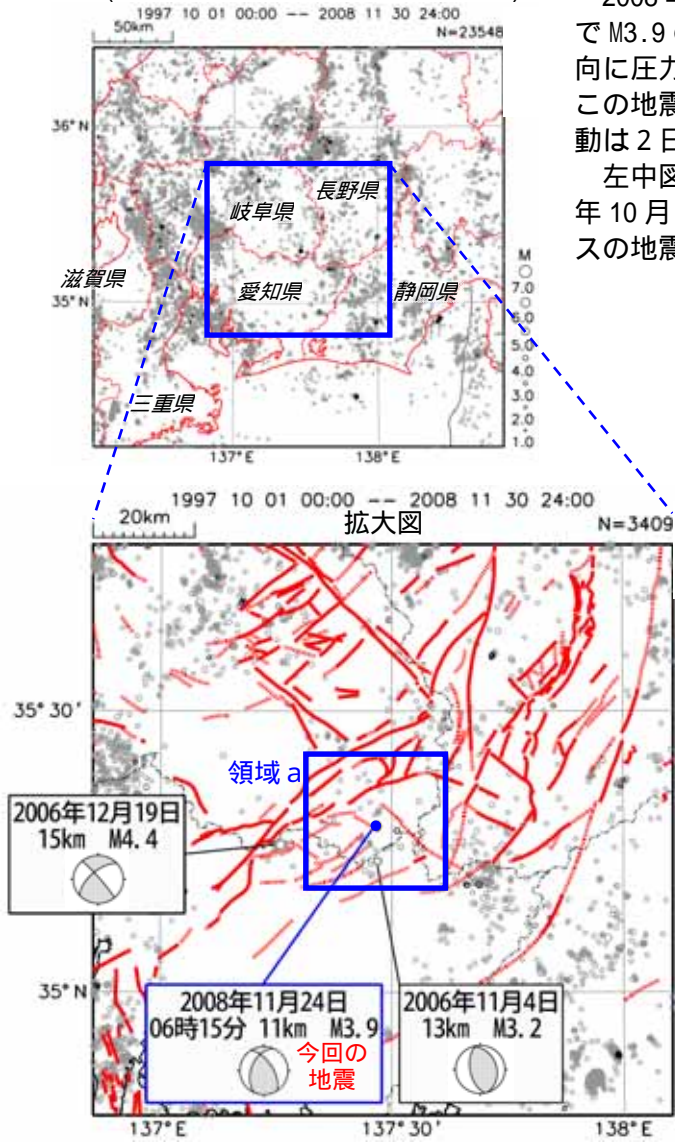
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

a) 11月24日に岐阜県美濃東部でM3.9(最大震度4)の地震があった。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上のいずれかに該当する地震。]

11月24日 岐阜県美濃東部の地震

震央分布図 (1997年10月以降、
M 1.0、深さ20km以浅)
(2008年11月1日以降を濃く表示)

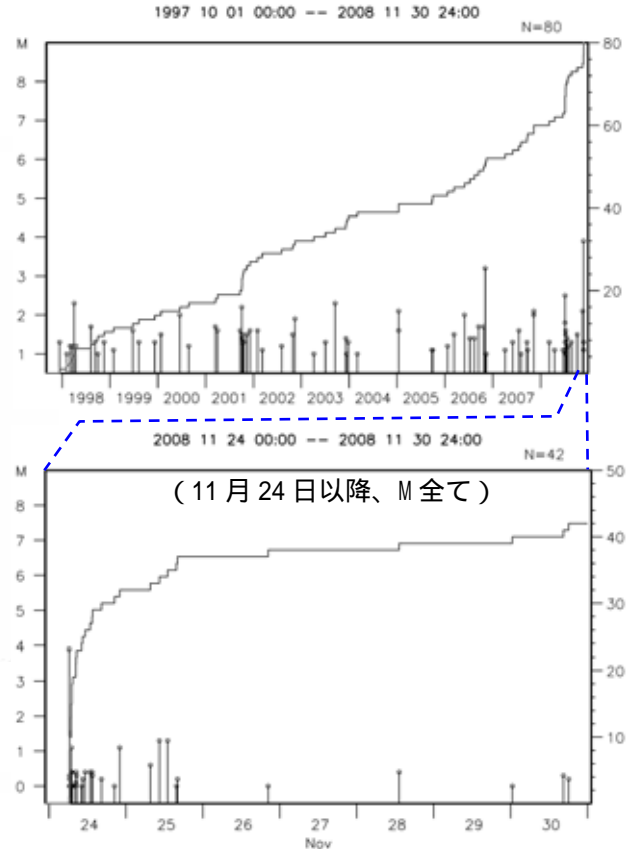


太実線・点線は「新編日本の活断層」(活断層研究会編, 1991)による活断層の位置を示す

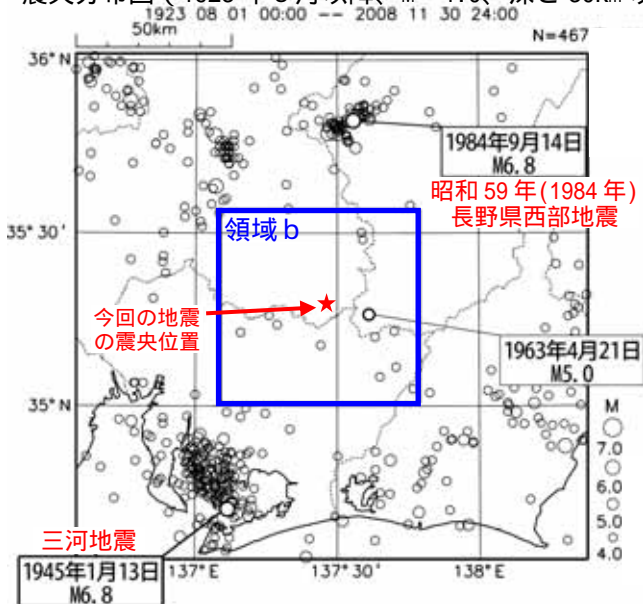
2008年11月24日06時15分に岐阜県美濃東部の深さ11kmでM3.9の地震(最大震度4)が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。この地震の発生後、規模の小さい余震が発生したが、主な活動は2日程度で収まっている。

左中図の範囲では数多くの活断層が存在しているが、1997年10月以降、今回の地震の震央周辺(領域a)でのM4クラスの地震はほとんど発生していない。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図

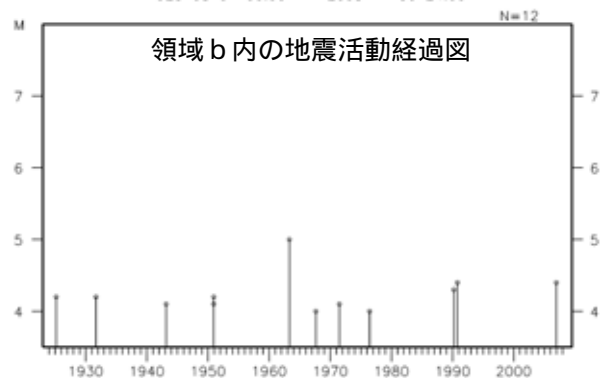


震央分布図 (1923年8月以降、M 4.0、深さ30km以浅)



左下図の範囲では、三河地震(M6.8)や「昭和59年(1984年)長野県西部地震」(M6.8)が発生しているが、今回の地震の震央付近(領域b)では、1923年8月以降、1963年のM5.0の地震が最大であり、M4クラスの地震も時折発生する程度である。

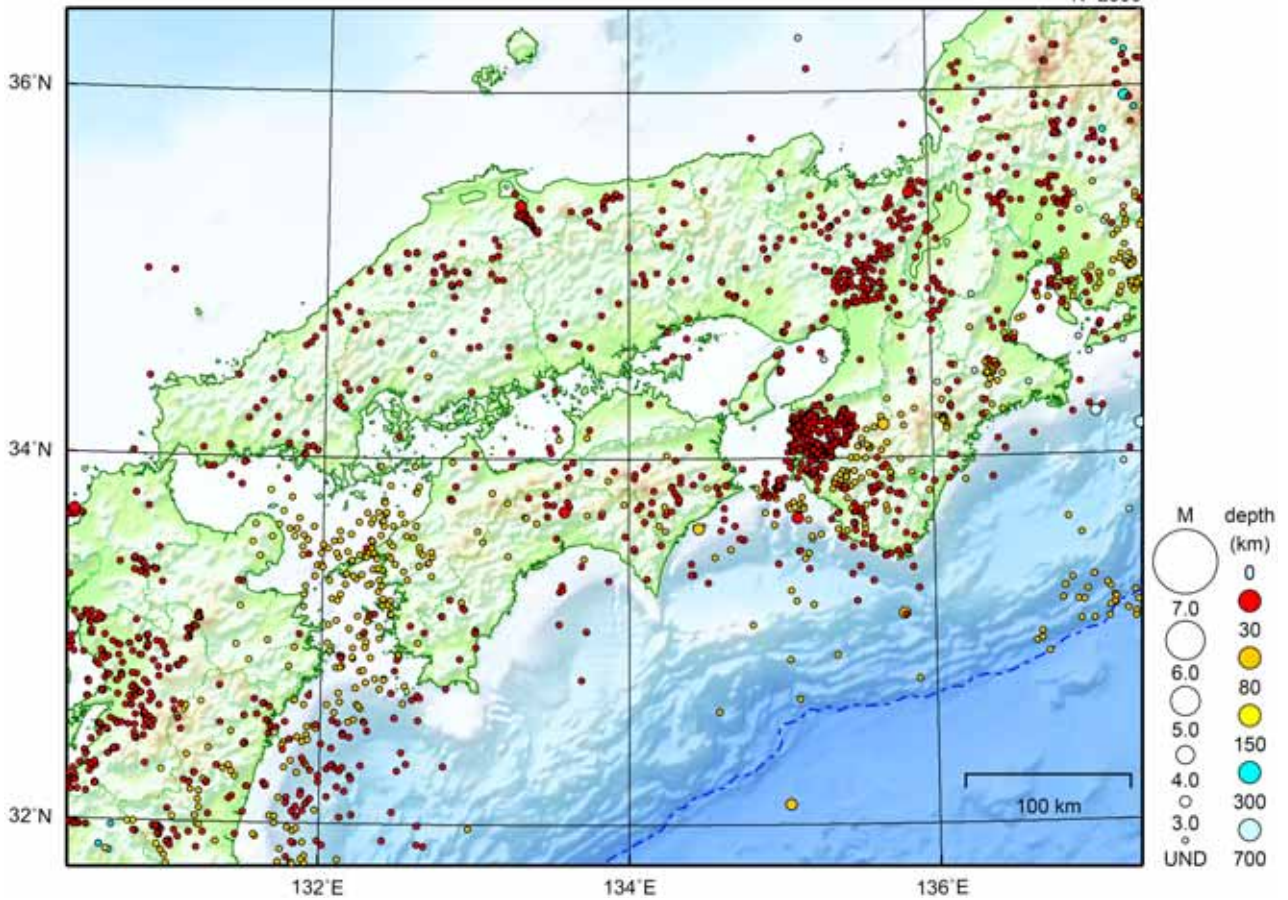
領域 b 内の地震活動経過図



近畿・中国・四国地方

2008/11/01 00:00 ~ 2008/11/30 24:00

N=2599



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

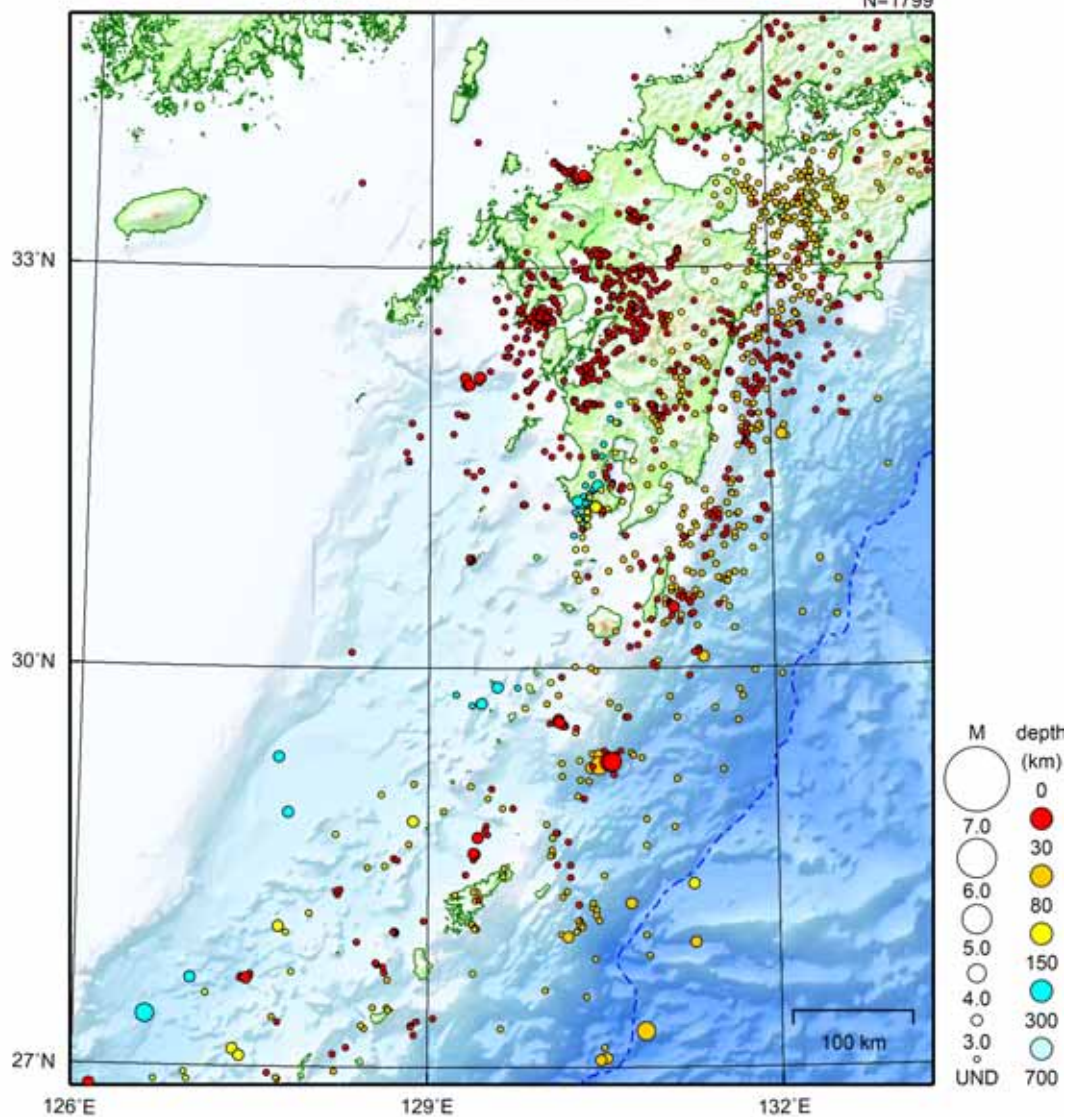
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

九州地方

2008/11/01 00:00 ~ 2008/11/30 24:00

N=1799



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

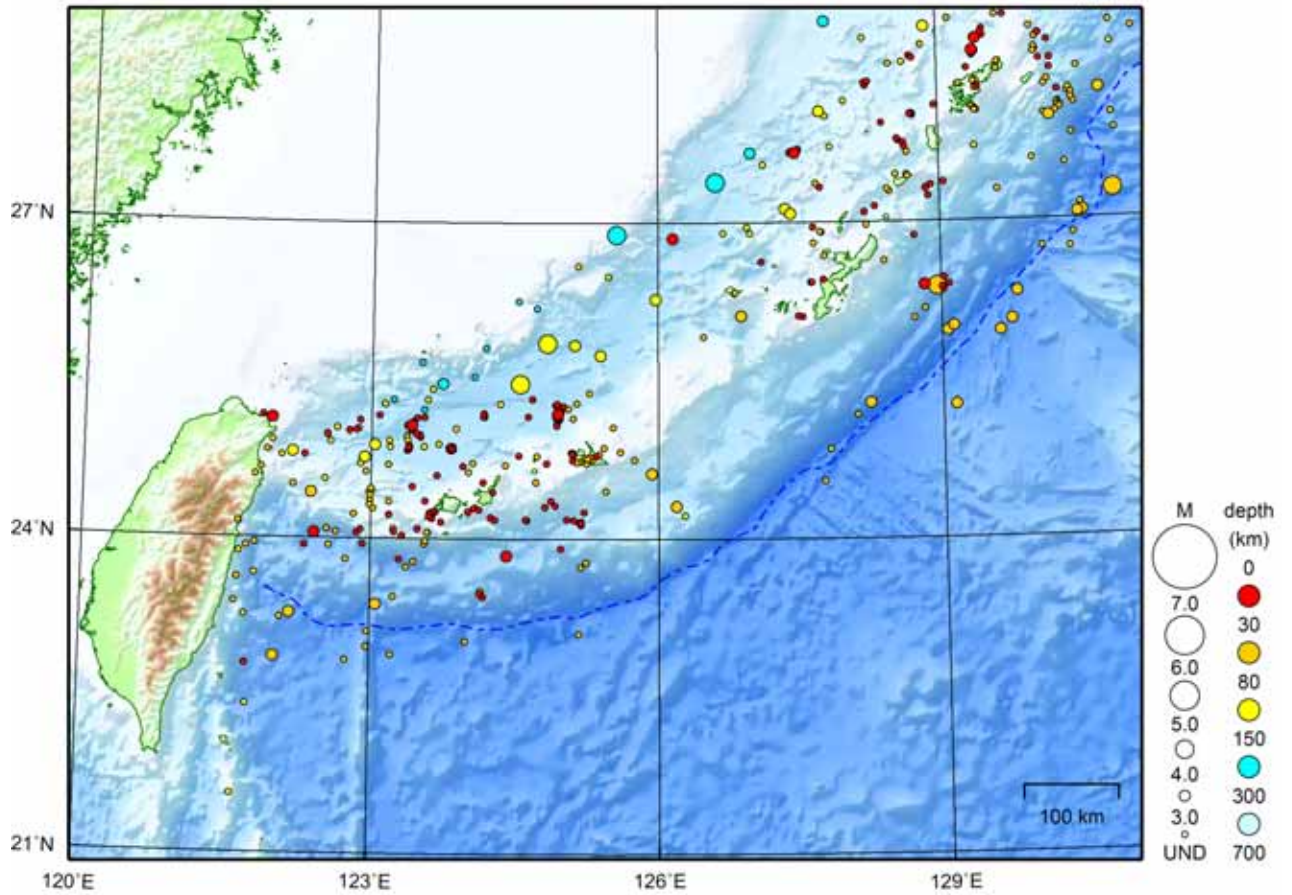
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

沖縄地方

2008/11/01 00:00 ~ 2008/11/30 24:00

N=403



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省